安全データシート(SDS)

1．製品および会社情報

会社名	：	昭石化工株式会社
住　所	：	東京都港区台場2−3−2（担当部門：営業部）
電話番号	：	03−5531−7063（Fax03−5531−6811）

製品名　　サルコートＥＣ−Ｓ（グレー）　硬化剤

2．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

引火性液体		：	区分外
急性毒性	経口	：	区分外
	経皮	：	分類できない
	吸入（蒸気）	：	分類できない
	（粉塵・ミスト）	：	分類できない
皮膚刺激・腐食性		：	分類できない
眼損傷性・眼刺激性		：	区分外
呼吸器感作性		：	分類できない
皮膚感作性		：	分類できない
生殖細胞変異原性		：	分類できない
発がん性		：	分類できない
生殖毒性		：	分類できない
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)		：	分類できない
特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)		：	分類できない
吸引性呼吸器有害性		：	分類できない
水生環境有害性（急性）		：	区分２
水生環境有害性（慢性）		：	分類できない

ＧＨＳラベル要素

絵文字またはシンボル　：なし

注意喚起語　：なし

危険有害情報

化学物質等の分類（日本方式）	：	分類基準に該当しない。
危険性	：	加熱すると引火しやすい液体。 消防法　指定可燃物（可燃性液体類）。
特定の危険有害性	：	水性生物に毒性
環境への影響	：	現在のところ有用な情報なし。

注意書き

安全対策	：	使用前に取扱説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。 この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。 粉塵／ミスト／ヒューム／蒸気／ガス等を吸引しないこと。 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 必要な個人用保護具を使用すること。 使用後はよく手を洗うこと。
救急処置	：	火災の場合には、消火に粉末、二酸化炭素、泡消火器を使用すること。 飲み込んだ場合は、水で口の中を洗い、直ちに医師の診断を受ける。可能ならば吐き出させる。 皮膚または髪に付着した場合は、直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと／取り除くこと。 多量の水と石けんで洗うこと。 吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは、医師の診断を受ける。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受けること。 眼に入った場合、水で十分注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当を受けること。 暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断、手当を受けること。
保管	：	直射日光、雨水を避け、火気、熱源のない風通しの良い屋内等での保管やシート等により養生を行う。
廃棄	：	内容物や容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

３．組成，成分情報

単一製品・混合物の区分	：	混合物
化学名（一般名／別名）	：	ウレタン系防水材の硬化剤
成分及び含有量	：	特殊ｱﾐﾝ、ﾌﾀﾙ酸ｼﾞﾉﾆﾙ、黄色酸化鉄、炭酸ｶﾙｼｳﾑ

成分名	含有量（%）	化学式	CAS No.	官報公示整理番号	PRTR法
特殊ｱﾐﾝ	2～4	企業秘密にて非公開	同左	同左	該当せず
ﾌﾀﾙ酸ｼﾞﾉﾆﾙ	36	$C_6H_4(COOC_9H_{19})_2$	28553-12-0	化審法 3-1307/安衛法　非該当	該当せず
炭酸ｶﾙｼｳﾑ	55～65	$CaCO_3$	471-34-1	化審法 1-122/安衛法　非該当	該当せず

４．応急処置

目に入った場合	：	直ちに多量の流水で 15 分以上洗い流す。洗眼の際、眼球とまぶたの隅々まで洗浄し、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼刺激が持続する場合は、速やかに医師の診察、手当を受ける。
皮膚に付着した場合	：	付着物を布にて素早く拭き取る。大量の水及び石けん又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い流す。溶剤、シンナーは使用しないこと。かゆみ、炎症等の異常があれば直ちに医師の診断を受ける。
吸入した場合	：	蒸気，ｶﾞｽ等を吸い込んで気分が悪くなった場合、空気の新鮮な場所で安静にし、直ちに医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	：	安静にして医師の診断を受ける。嘔吐物は飲み込ませないこと。本人が自発的に吐くことが可能ならば吐き出させる。他人が無理に吐かせてはならない。

５．火災時の措置

消火剤	：	粉末消火器、二酸化炭素消火器、泡消火器、大量の水が有効である
特定の消火方法	：	付近の着火源を断ち、保護具を着用して風上から消火する。
消火を行う者の保護	：	保護衣を着用する他、状況に応じ防火用手袋、有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。
火災周辺の措置	：	火災周辺は、関係者以外立入り禁止とする。

６．漏出時の措置

	：	通常の取扱い範囲では漏出しない。
人体に対する注意事項	：	作業の際には適切な保護具(ゴム又はプラスチック手袋、呼吸器用保護具、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
環境に対する注意事項	：	河川等へ排出され、環境へ影響を起こすことがないように注意する。
除去方法	：	乾燥砂、水、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量流出の際には、盛り土で囲って流出を防止する。流出物はスコップなどで密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
二次災害の防止	：	付着物・廃棄物などは、関係法規に基づいて処理をすること。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	：	火気、火花、高温物の使用を禁止。換気の良い場所で取扱い、容器はその都度密栓する。
取扱者の暴露防止	：	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面等の保護具を着用する。取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行う。
安全取扱注意事項	：	皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用する。高温暴露、水濡れを避ける。使用済みｳｪｽ、防水材かす等は廃棄するまで水に浸けておく。

保管

技術的対策(保管条件)	：	直射日光、雨水を避け、火気、熱源のない屋内等での保管やシート等により養生を行う。

８．暴露防止及び保護措置

設備対策	：	屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置の設置を行う。取扱い場所の近くに洗眼、洗顔および身体洗浄のための設備を設ける。

適切な保護具

呼吸器系の保護	：	状況に応じて有機ガス用防毒マスクを着用する。
手の保護具	：	耐油性(非浸透性)ゴム製保護手袋を着用する。
目の保護	：	状況に応じて側板付普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	：	長袖作業衣、必要に応じて静電気防止保護服及び保護長靴を着用する。

９．物理的及び化学的性質

物理的状態　形状	：	着色ペースト状液体
色	：	グレー
臭気	：	微臭あり
ＰＨ	：	情報なし
融点	：	データなし
沸点	：	データなし
引火点	：	159℃
発火点	：	データなし
爆発特性	：	データなし
蒸気圧	：	データなし
蒸気密度	：	データなし
密度	：	1.57(g/cm^3)
溶媒に対する溶解性	：	トルエン、キシレン、酢酸エチル等に可溶、水に不溶

１０．安定性及び反応性

安定性	：	常温で安定である。
反応性	：	単独では全く反応しない。
避けるべき条件	：	火気厳禁および高温場所を避ける。混触危険物質との接触を避ける。
混触危険物質	：	水分、イソシアネート類との接触を避ける。
危険有害な分解生成物	：	燃焼あるいは高温により一酸化炭素、窒素酸化物等の有害ガスを発生する。

１１．有害性情報

引火性液体類	：	混合物引火点159℃、【区分外】
急性毒性	：	（経口）特殊ｱﾐﾝ(2～4%) ＬＤ50 738mg/kg 混合物として【区分外】に分類。 （経皮）現在のところ有用な情報なし。混合物として【分類できない】。 （吸入）現在のところ有用な情報なし。混合物として【分類できない】。
腐蝕性/刺激性	：	（皮膚）現在のところ有用な情報なし。混合物として【分類できない】。 （眼）特殊ｱﾐﾝ(2～4%)；区分２Ｂ 混合物として【区分外】に分類。
感作性	：	（皮膚）現在のところ有用な情報なし。混合物として【分類できない】。 （呼吸器）現在のところ有用な情報なし。混合物として【分類できない】。
発がん性	：	現在のところ有用な情報なし。混合物として【分類できない】。
生殖細胞変異原性	：	現在のところ有用な情報なし。混合物として【分類できない】。
生殖毒性	：	現在のところ有用な情報なし。混合物として【分類できない】。
特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）	：	現在のところ有用な情報なし。混合物として【分類できない】。
特定標的臓器/全身毒性（反復暴露）	：	現在のところ有用な情報なし。混合物として【分類できない】。
吸引性呼吸器有害性	：	ﾃﾞｰﾀなし。混合物として【分類できない】。

１２．環境影響情報

生体毒性	：	水性環境有害性； 特殊ｱﾐﾝEC50(48hrs)甲殻類(ﾐｼﾞﾝｺ) 0.5mg/L （区分２） ・水性環境急性有害性；混合物として【区分２】に分類。 ・水性環境慢性有害性；現在のところ有用な情報なし。混合物として【分類できない】。
残留性、分解性	：	水中での生分解性は良好ではない。1.0%以下(28日間)
生体蓄積性	：	現在のところ有用な情報なし。
土壌中の移動性	：	現在のところ有用な情報なし。

１３．廃棄上の注意

以下の情報を参考に分類の上、許可を受けた専門業者に処理を委託する。詳細は法律（廃掃法及び容器包装リサイクル法）に従う。

容器・包装の廃棄	：	空容器類を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後に産業廃棄物として処理または回収する。 （ ）に管理型・安定型の区分を示す。 外箱、紙管など紙製容器・包装：回収または紙くずとして処理。(単体で管理型産業廃棄物、付着成分がある場合も管理型産業廃棄物) 金属缶、金属ドラム、金属チューブ類：金属くずとして処理。(単独で安定型産業廃棄物、付着成分がある場合はその安定型・管理型分類に従う。) プラスチック製のボトル、チューブ、袋など：廃プラスチックとして処理（単独で安定型産廃、付着成分がある場合はその安定型・管理型分類に従う。）

１４．輸送上の注意

輸送の特定の安全対策及び条件	：	取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。 容器の漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。
陸上	：	消防法；指定可燃物　（可燃性液体類） 容器；危険物の規制に関する規則　別表第３の２　金属製容器（１０L） （注）　容器は危険物の規制に関する技術上の基準の細目を定める告示第 68 条の 5 に定める容器試験基準に適合していることを自主確認すること。
	：	容器表示；一　指定可燃物　（可燃性液体類） 二　火気厳禁
	：	積載方法；運搬時の積み重ね高さは３m以下
海上	：	船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空	：	航空法に定めるところに従うこと。
国連分類・番号	：	非該当

１５．適用法令

法規制	：	化学物質管理促進法（PRTR 法）及び労働安全衛生法 57 条の 2 第 1 項 通知対象物の該否については 3. 組成、成分情報内に示す。 消防法；指定可燃物　（可燃性液体類）

１６．その他の情報

引用、参考文献	：	JIS Z 7252(2014)　GHS に基づく化学物質等の分類方法 独立行政法人　製品評価技術基盤機構(NITE)ホームページ　GHS 分類結果データベース 国連 GHS 文書　改訂 5 版　(2013) 原料メーカーの MSDS 国際化学物質安全カード(ICSC) 製品安全データシートの作成指針（改訂版）日本規格協会(2001 年 10 月) 危険物船舶運送及び貯蔵規則　14 訂版　海文堂
含有量表示基準	：	PRTR 指定物質及び劇毒物は有効数字 2 桁。労安通知物質その他は 5%刻みの未満表示（10%未満の場合は 1%刻み）で表す。

・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。なお、新しい知見により改訂されることがあります。
・危険、有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。
・注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。特別な取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。また、本製品を本来の用途以外に使用しないでください。